

防災 interview

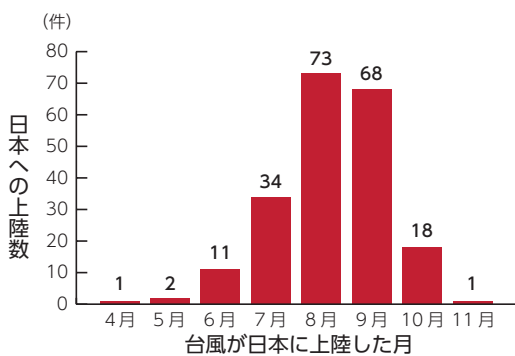


災害ボランティアネットがまごおり 副代表 伊藤茂生

台風は「季節もの」から「通年もの」に認識の変更を

台風は6～9月にかけて日本へ上陸することが多いです。昔は台風に見舞われやすい立春～9月1日を「二百十日(にひゃくとおか)」と言っていました。今は少し違ってきています。近年被害が大きいのは9～10月の台風ではないでしょうか。例えば、昨年の台風第19号も10月中旬に上陸しました。また、台風が上陸し始める6・7月についても、進路や規模によっては大きな被害を受けることもあります。

日本の台風上陸数 (昭和26年～令和元年)



異常気象などにより海水温度の上昇から、以前より台風シーズンが長くなってきています。そのため、一年を通して次の台風に備えることが重要になってきています。

私が所属している「災害ボランティアネットがまごおり」では、講習会や勉強会などを通じて、進んで防災について学び、活動しています。災害に対しては、まずは自らの命を自ら守る方法を知ることが大切です。これにより、家族や友人、周りの方の命を守ることができるのです。

今からできる台風準備



台風到来の予測がされたら…窓ガラスに養生テープを貼ることで、ガラスの飛散を防げます。



風呂の浴槽に水を張って断水時に生活用水として使えるようにしておきましょう。



水を入れたペットボトルを凍らせておけば、停電したときに冷蔵庫の保冷剤代わりになります。